

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
文化・教養課程	スポーツ学科 (アスレティックトレーナーコース)	夜・通信	300時間	160時間	
	スポーツ学科 (ライフ・フィットネストレーナーコース)	夜・通信	270時間	160時間	
	スポーツ学科 (サッカーコース)	夜・通信	270時間	160時間	
	スポーツ学科 (バスケットボールコース)	夜・通信	270時間	160時間	
	スポーツ外国学科	夜・通信	300時間	240時間	
	スポーツ外国学科	夜・通信	180時間	90時間	
医療課程	鍼灸学科	夜・通信	300時間	240時間	
	柔道整復学科	夜・通信	300時間	240時間	
	理学療法学科	夜・通信	390時間	320時間	
	理学療法学科	夜・通信	330時間	180時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大阪市立大学 教授	2021. 3. 31	「経営方針」「教育方針」「組織運営体制」「法務」「財務」のチェック機能
非常勤	吉田運送(株) 代表取締役	2021. 3. 31	「経営方針」「教育方針」「組織運営体制」「法務」「財務」のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 履正社不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。 シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。	
授業計画書の公表方法	https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目のシラバスに明記 ・定期試験 ・出席率 ・授業中に実施する復習テスト ・質問や発言などの積極的な授業態度(加点) ・レポート課題の提出等	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優(3ポイント)、良(2ポイント)、可(1ポイント)、不可(0ポイント)とし、成績分布を把握している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみだし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
収支計算書又は損益計算書	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
財産目録	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
事業報告書	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
監事による監査報告（書）	http://www.riseisha.jp/information/pdf/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (アスレティックトレーナーコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間	180 単位時間	
			1860 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280人		88人	0人	9人	22人	31人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/</p> <p>一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (ライフ・フィットネストレーナーコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間	180 単位時間	
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
280人	80人	1人	3人	13人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優(3ポイント)、良(2ポイント)、可(1ポイント)、不可(0ポイント)とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
(概要) https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (サッカーコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間	180 単位時間	
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
280人	52人	2人	3人	10人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優(3ポイント)、良(2ポイント)、可(1ポイント)、不可(0ポイント)とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
(概要) https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (バスケットボールコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間	180 単位時間	
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
280人	81人	2人	3人	10人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優(3ポイント)、良(2ポイント)、可(1ポイント)、不可(0ポイント)とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
(概要) https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ外国語学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3540 単位時間	1890 単位時間	60 単位時間	1200 単位時間	390 単位時間	
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	15人	0人	3人	5人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
（概要） https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ外国語学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1800 単位時間	1560 単位時間	60 単位時間	60 単位時間	120 単位時間	
			1800 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	3人	0人	3人	5人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。</p> <p>最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/</p> <p>一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2685 単位時間	1335 単位時間	360 単位時間	180 単位時間	810 単位時間	
			2685 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	136人	0人	8人	11人	19人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
（概要） https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2760 単位時間	1500 単位時間	450 単位時間	180 単位時間	630 単位時間	
			2760 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	154人	0人	8人	21人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
（概要） https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担任とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3450 単位時間	2190 単位時間	240 単位時間	810 単位時間	210 単位時間	
			3450 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	109人	0人	13人	67人	80人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
（概要） https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	3450 単位時間	2190 単位時間	240 単位時間	810 単位時間	210 単位時間	
			3450 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	93人	0人	13人	67人	80人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。
学修支援等
（概要） https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担任とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
207人 (100%)	27人 (13%)	136人 (66%)	44人 (21%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
710人	88人	12.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スポーツ学科 (全コース共通)	100,000 円	740,000 円	390,000 円	別途教材費
スポーツ外国語学科 (昼間部)	200,000 円	1,000,000 円	400,000 円	別途教材費
スポーツ外国語学科 (夜間部)	200,000 円	750,000 円	300,000 円	別途教材費
鍼灸学科	300,000 円	800,000 円	560,000 円	別途教材費
柔道整復学科	300,000 円	800,000 円	560,000 円	別途教材費
理学療法学科 (昼間部)	300,000 円	980,000 円	444,000 円	別途教材費
理学療法学科 (夜間部)	300,000 円	710,000 円	280,000 円	別途教材費
修学支援 (任意記載事項)				
履正社特別奨学金・特待生制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 全日本鍼灸学会	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
ラックヘルスケア株式会社	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
やなぎ整形外科クリニック	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
なかたに鍼灸整骨院	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
ハギーコーポレーション	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
むらかわ接骨院	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.riseisha.ac.jp/school/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.riseisha.ac.jp/>